

## 中小企業の経営改善および地域活性化のための取組状況

### ■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを経営理念としております。

お客さまの経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。

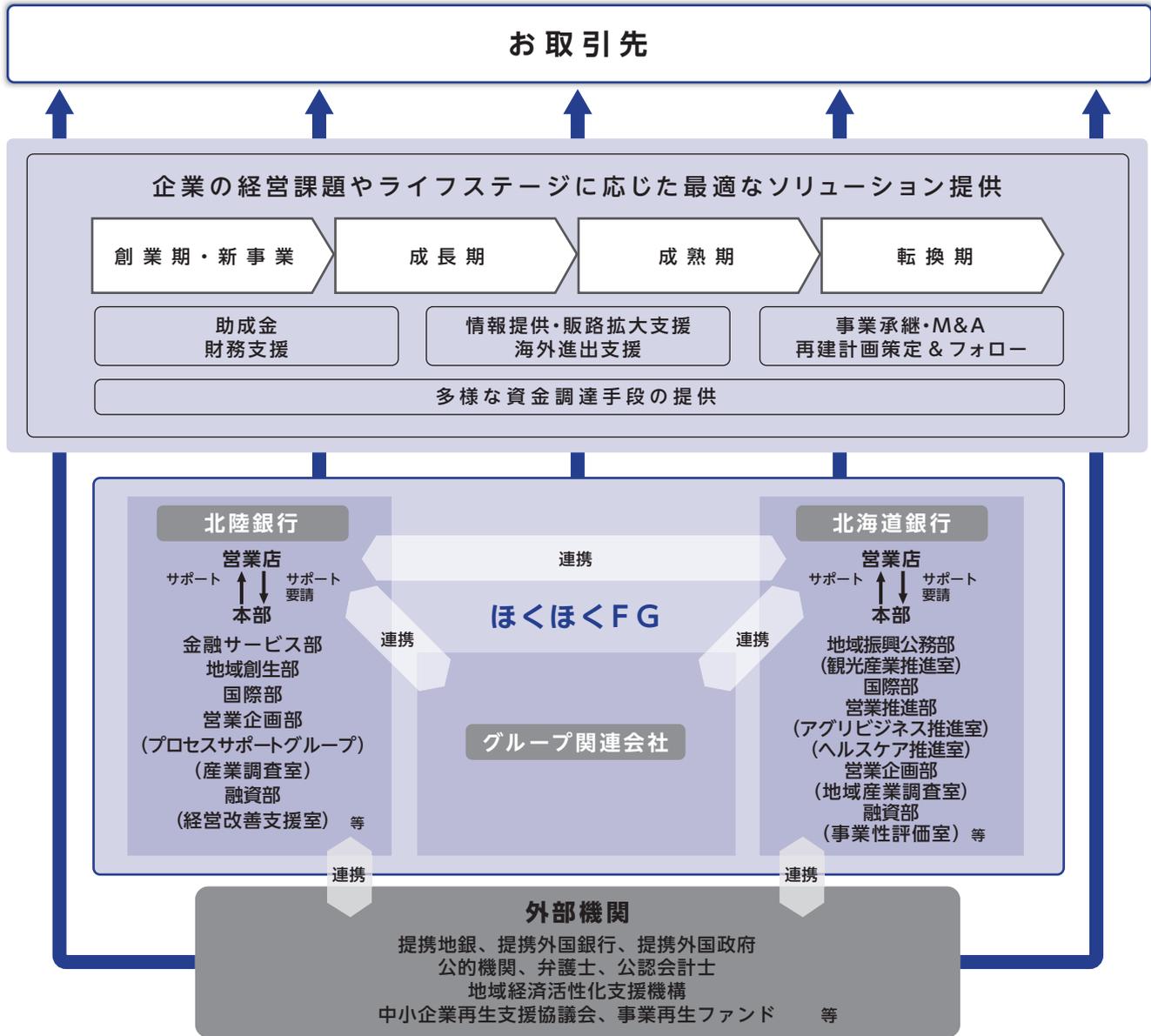
お客さまの経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループを目指してまいります。

### ■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備

ほくほくフィナンシャルグループでは、「経営基盤の強靱化」の取り組みの1つとして、中小企業の経営支援に取り組んでいます。経営改善支援取組先の選定、事業計画の策定と実績のフォローを北陸銀行融資部(経営改善支援室)、北海道銀行融資部(事業性評価室)が担っています。また、営業力の向上に向けたお取引先への情報提供と販路拡大支援、海外進出支援に関するサポートを北陸銀行地域創生部、金融サービス部、国際部、営業企画部(プロセスサポートグループ、産業調査室)および北海道銀行地域振興公務部、営業推進部、営業企

画部(地域産業調査室)、国際部が担い、事業承継、M&Aについては、北陸銀行金融サービス部、北海道銀行営業推進部がそれぞれ外部専門機関と連携し、営業店とともにコンサルティングを行っています。また、各担当部・室では、お取引先に対する目利き力、コンサルティング力を持つ人財の養成に努めています。

経営の改善のための取り組みに関する計画・実績・進捗状況等については、経営会議や取締役会が各担当部・室より報告を受け、指示を行い、諸施策等の改善やさらなる充実を図る態勢としています。



## ■ 中小企業の経営支援に関する取組状況

### 1. 創業・新規事業開拓の支援

当社グループでは、創業や新規事業を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなど資金調達面からの支援や産学連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っています。

#### ・「ほくぎん創業支援セミナー」を開催 (北陸銀行)

創業を検討されている方や創業して間もない方を対象に、5月に高岡市で、7月に小松市で創業支援セミナー「創業のチカラ」を日本政策金融公庫と共同開催しました。

参加者は、先輩起業家による講演に加え、昨今注目を集めているクラウドファンディングやネットショップビジネスに関する講演を熱心に聴講されました。



#### ・ファンドを活用した資金調達支援 (北海道銀行)

ベンチャー向け投資ファンド「ほっかいどう地方創生ファンド」「道銀どさんこファンド」「道銀アグリビジネスファンド」などを活用した創業・新事業への支援を行っています。

(平成29年度上期の出資実績:「ほっかいどう地方創生ファンド」1件5,000万円)

#### ・「道銀創業支援塾」 (北海道銀行)

創業を目指す経営者候補と創業5年以内の経営者の方を対象に、北海道中小企業総合支援センター(北海道よろず支援拠点)、日本政策金融公庫との共催で、事業計画、会計・税務など創業に必要なノウハウを学ぶことができる「道銀創業支援塾」を平成27年度より開講しています。

(平成28年度までの卒業生:33名、平成29年度上期卒業生:12名)

#### ・「道銀農業経営塾」 (北海道銀行)

農業生産法人や農業経営者の「企業化」への支援を目的として、平成23年度より「道銀農業経営塾」を開講しています。「経営理念」「経営管理(財務・税務・労務)」「販路拡大・販売戦略」などの情報を専門家の講義や参加者との意見交換を通じて習得し、将来の北海道農業の担い手となる経営者の育成に取り組んでいます。

(平成28年度までの卒業生:76名)



### 2. 成長段階における支援

当社グループの広域店舗網や提携外部機関とのネットワークを活用した商談会・セミナーの開催を通して、お取引先の販路開拓や工場進出といった事業の拡大を支援しています。商談会では、事前相談やテーマの絞り込みにより、お取引先にとって有益なビジネスマッチングの機会となるよう工夫した取り組みを行っています。

また、海外行政機関や金融機関等との業務提携、海外駐在員事務所による情報提供を通じて、お取引先の海外進出支援や現地における継続的なビジネス展開の支援に努めています。

#### <販路拡大支援>

#### ・「遼寧省中日商談会」を開催 (北陸銀行、北海道銀行)

9月、北海道銀行の瀋陽事務所がある中国遼寧省瀋陽市において、第1回目となる商談会を開催しました。

中国に進出している企業が、新たな部材調達先や販売先、投資・合併パートナーを求め、今まで接点のなかった瀋陽市企業と商談を行いました。

(出展企業:約100社)



#### ・「ビジネス・サミット2017」を開催 (北陸銀行、北海道銀行)

7月、「ビジネス・サミット2017」を金沢にて大垣共立銀行と共同開催しました。本商談会は、事前アポイント型の個別商談会で、商談成約率の向上を図りました。

(参加バイヤー:118社、参加サプライヤー:156社、商談件数:1,245件、当日成約件数:99件)



#### ・「FOOD EXPO 北海道」を開催 (北陸銀行、北海道銀行)

7月、道内の食品生産・製造・加工メーカー等の販路拡大支援を目的に、「食の商談会」「FOOD EXPO 北海道」を開催しました。

本商談会では道内全域に亘る幅広いネットワークを活かし、北海道の「優れた逸品」「隠れた逸品」を道内外のバイヤーに対してPRしました。

(出展者:136社・団体、来場者:約1,000名)



#### ・農業ベンチャーおよび道銀地域総合研究所との間で「包括業務提携に関する覚書」を締結 (北海道銀行)

農業ベンチャーの株式会社ファーム・アライアンス・マネジメントおよび道銀地域総合研究所との間で、業務提携の覚書を締結しました。同社は、農産物の安全管理の国際規格である「グローバルGAP」の取得支援や生産情報管理システム「Farm Records」の提供を行っている企業です。

グローバルGAPの普及は、農業者の経営品質改善や輸出可能性の伸長等、北海道農業の発展に貢献するものです。本提携により三者が有するサービス・ノウハウを活用し、道内農業者の認証取得等を支援していきます。



## <海外進出支援>

- ・タイ・バンコクで「北海道レストランフェア」を開催 (北陸銀行、北海道銀行)

7月28日～8月14日、「北海道レストランフェア」を開催しました。本イベントでは北海道の特色ある食材を実際に輸出し、現地高級日本料理店でその特性を生かしたメニューを提供しました。SNSやブログを広告に活用し、道産食品を輸出する際に必要な一連の手続きを実際に行うことで、今後の継続的な輸出取引に向けた支援を行いました。(開催店舗:5店舗)



- ・武漢市商務局と経済交流の覚書を締結 (北陸銀行)

9月、中国湖北省の省都である武漢市の商務局との間で「経済交流を促進することについての覚書」を締結しました。

本覚書の締結により、中国中部地区へ進出を検討しているお取引先への現地投資環境情報の提供や進出サポートとともに、既に進出しているお取引先への商談会共催による新たなビジネス機会の創出などを進めていきます。



## <セミナー開催による情報提供>

- ・「長城会セミナー」を開催 (北陸銀行)
- 平成15年3月より、海外ビジネスを展開中または関心を持つお取引先を中心に会員組織「ほくりく長城会」を運営しており、今年

度も会員向けに「長城会セミナー」を開催しました。

株式会社名南経営コンサルティングの小島副社長に「中国の現状と進出日系企業を取り巻く環境」という演題で講義いただき、海外販路の開拓に関するノウハウを提供しました。(富山会場参加者:48名、金沢会場参加者:27名)



- ・ロシアビジネスセミナーを開催 (北海道銀行)

9月、ロシアの提携銀行VTB24銀行から、リテール分野に強みを持つウラジオストク支店とユジノサハリンスク支店の支店長を招聘し、経済動向や地域情勢について情報提供を行いました。同セミナーには地方公共団体関係者のほか、建設、農業、水産、食品関係者約50名に参加いただきました。



- ・「外国人介護人材の活用のためのセミナー」を開催 (北海道銀行)

9月、外国人技能実習制度に介護職種が追加されることを踏まえ、道内の介護事業者向けにセミナーを開催しました。海外の介護人材の就業能力開発プログラムや、受入側の介護現場での人材マネジメントについて解説しました。(参加者:79名)



## 3. 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

専担部署によるサポートや中小企業再生支援協議会などの外部機関のコンサルティングの活用により経営改善計画策定を支援するとともに、その後のモニタリングを通じて課題解決に向けた各種支援を行っています。

### <経営改善・事業再生>

- ・外部機関との連携強化
- 中小企業再生支援協議会や小規模企業経営革新支援協会(ASEF)、提携している経営コンサルタントなど外部機関を活用した経営改善の取り組みを強化しています。
- また、地域経済活性化支援機構(REVIC)の特定専門家派遣制度を活用して、「医薬品製造業者・業界分析」や「事業性評価研修会」を実施しています。

- ・深度ある実態把握と経営改善支援

経営改善の課題・改善策を明確にするため、SWOT分析を用いた事業性評価やPDCAサイクルによるモニタリング等により、きめ細かく企業支援活動を実施しています。

#### 経営改善支援の取組実績(平成29年度上期)

	北陸銀行	北海道銀行
重点的な経営改善支援を必要とするお取引先	353先	199先
うち再生計画を作成した先	342先	167先
うち事業の改善が確認できた先	25先	24先

- ・金融円滑化に向けて

当社グループは、地域金融の円滑化を重要な使命と捉え、これまでも地域のお客さまの資金需要や返済条件の見直しなどのご要望に対して積極的な取り組みを行ってきました。

今後も、中小企業・個人事業主のお客さま、住宅ローンをご利用

のお客さまからのご要望に対して真摯かつ柔軟な対応に努め、金融円滑化に関する基本方針に則り積極的な支援を行っています。

- ・経営者保証に関するガイドラインへの取組状況

当社グループは、平成25年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会(全国銀行協会および日本商工会議所が事務局)が公表した「経営者保証に関するガイドライン」(以下、本ガイドラインという)を踏まえ、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢を整備しています。

お客さまと保証契約を締結する場合や保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき誠実に対応するよう努めています。

本ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご参照ください。

- ・全国銀行協会 <http://www.zenginkyo.or.jp/abstract/adr/adrsme/guideline/>
- ・日本商工会議所 <http://www.jcci.or.jp/sme/assurance.html>

#### 経営者保証に関するガイドラインへの取組実績(平成29年度上期)

主要計数	北陸銀行	北海道銀行
①新規に無保証で融資した件数	3,104件	1,545件
②保証契約を変更した件数	167件	72件
③保証契約を解除した件数	254件	170件
④ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	1件	1件

## ■ 地域の活性化に関する取組状況

### <地方創生に関する取り組み>

北陸銀行では「地域創生部」を、北海道銀行では「道銀地方創生本部」を設置し、銀行一丸となって地方創生を推進する体制を構築しています。

#### ・地方自治体との包括連携協定を締結 (北陸銀行、北海道銀行)

地域経済の発展に向けた相互の連携強化を目的として、地方自治体との包括連携協定を締結しています。

平成29年4月から9月までに、北陸銀行では高岡市、小松市を、北海道銀行では今金町、芽室町を新たに加え、グループ全体で46の自治体と協定を締結しています。

今後も、各自治体が策定した「地方版総合戦略」の推進と「地方創生」に関する事業に積極的に協力していきます。



今金町との調印式



小松市との調印式

#### ・国土交通省との「PPP協定(Ⅱ)」パートナー就任 (北海道銀行)

4月、国土交通省との「PPP協定(Ⅱ)」パートナーに就任しました。本協定は、PPP/PFI<sup>(\*)</sup>の推進に当たり、効果的かつ効率的な施策の推進を図ることを目的としています。

PPP/PFIに関するセミナーの開催等において、今まで以上に国土交通省の支援を得ることで、道内の自治体や事業者の皆さまに一層役立つ情報を提供します。

(\*)PPP/PFI…民間の資金やノウハウを活用して、公共施設の更新や管理運営を円滑に進めていく考え方・手法のこと



#### ・「インバウンドプロダクツ2017」を開催 (北陸銀行、北海道銀行)

5月、増加する訪日外国人客の受入態勢づくりを支援するための展示・個別商談会を開催しました。マーケティング(SNS活用・国別情報発信)、多言語対応(通訳・デジタルサイネージ・外国人人材紹介)、システム(Wi-Fi・免税・決済・予約)等のサービス提供事業者62社が出展しました。当日は、北海道のホテル・旅館をはじめとした観光関連事業者約500社1,000名が来場し、出展企業と商談を行いました。



#### ・「地方銀行未来応援団」を設立 (北陸銀行)

7月、各地域にある「伝統の技」を時代に合ったものに変革することで、新たな購入層を開拓するため、「地方銀行未来応援団」を大垣共立銀行と共同で設立しました。同組織は、株式会社日本経済新聞社が運営する購入型クラウドファンディングサイト「未来ショッピング」を活用することで「新たな商品」を全国に発信し、地域のものづくりの活性化を後押しする広域的な取り組みを目指すものです。



#### ・東証と「資本市場に関する連携についての基本協定」を締結

(北陸銀行、北海道銀行)

7月、株式会社東京証券取引所と「資本市場に関する連携についての基本協定」を締結しました。国内の金融機関と東証がこの

ような協定を締結するのは初めてです。

本協定は、企業の上場支援や投資者の金融リテラシー向上に取り組むことを目的としています。地域経済の中核となる産業や企業の育成が必要とされる中で、直接金融と間接金融が密接に連携して北陸や北海道の成長企業を後押ししていきます。



#### ・北海道3自治体共催ビジネスセミナー (北海道銀行)

8月、道産資源を活用した食品加工や観光産業関連の立地、冷涼な気候にマッチした作物栽培を考える企業を対象に上士幌町、中標津町、ニセコ町の3自治体と共同でセミナーを開催しました。

本セミナーでは「北海道ブランド」を活用するための情報発信を行い、食品加工業をはじめ、ケミカル医薬品製造やIT、建設不動産業等さまざまな業種の企業に参加いただきました。(参加者:96名)



#### ・「地域応援」活動 (北陸銀行)

創業140周年を機に、地域に支えられてきた銀行として地域の方々を元気にすることを目的に、各支店で「何が地域に喜ばれるか」を考え、さまざまなプロジェクトを企画・実施しています。6月から活動をスタートし、大学・観光協会と共同で外貨両替のできる場所が一目で分かる「両替ガイドマップ」作成や地元小学校での読み聞かせなどを実施しています。年度を通して全101カ店110プロジェクトの実施を予定しています。



#### ・イクボスセミナーの開催 (北海道銀行)

中期経営計画の人的育成戦略に掲げる「各階層に求められる人間力の向上」の一環として、「イクボス<sup>(※)</sup>」セミナーを実施しました。「イクボス」への理解を深め、組織の活性化、チーム力の強化、女性活躍支援の風土醸成を図るとともに、参加者の人間力向上を目的とする内容で、9月15日・16日に実施し、2日間で計92名の職員が参加しました。

(※)イクボスとは、NPO法人「ファザーリング・ジャパン」が定義した「共に働く部下のワークライフバランスや人生を応援しながら、組織の業績も結果を出すことができ、なおかつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(男性・女性問わず)」のこと



#### ・支店長セミナー (北陸銀行、北海道銀行)

地域の皆さまへの日頃の感謝の気持ちをお伝えするとともに、お客さまの資産形成や経営課題の解決のための良質なサービスを提供し地域貢献を果たすことを目的に、支店長自らが講師となり、さまざまな内容のセミナーを開催しました。